

Just Now

相互理解, 豊かな表現力を 育てる英語活動の実践

小野 鉦司 Ono Koji
(愛知県弥富市立弥生小学校)

I はじめに

本校では、今年度より「豊かなコミュニケーション能力を身につけた弥生っ子の育成をめざして——相互理解, 豊かな表現力を育てる英語活動を通して」というテーマで、英語活動についての研究に取り組んでいる。平成 23 年度より小学校 5・6 年生に週 1 回(年間 35 時間)の英語活動が導入されることは、すでに周知の事実ではあるが、学級担任による英語活動の授業が展開されていくことについては、いろいろな面で多くの不安要素を抱えている学校が多いのではないだろうか。そこで、本校のめざしている学級担任が行う英語活動の授業の展開について、以下に紹介し、モデルプランとして提案する。

II 平成 19 年度の取り組み

実は、すでに本校では、平成 19 年度において、「コミュニケーション力の土台づくりをめざして——楽しい英語活動を通して」というテーマで英語活動の研究に取り組み、本校独自の 5・6 年生の英語活動の年間指導計画を完成させるという成果をあげている。今年度研究のベースとなっている平成 19 年度研究については次の通りである(抜粋)。

(1) 英語活動のめざす方向

英語を聞いたり、話したりする活動を通して、外国の文化に興味を持つと共に、コミュニケーション能力を育成し、国際社会のなかでたくましく生きる子どもの育成をめざす。

(2) 英語活動でめざす子どもの姿

自分の言いたいことを、言葉や身振りや表現を工

夫し伝えたり、相手が言いたいことをしっかり聞いたりして、英語に親しみながら楽しく他者とのコミュニケーションを図ろうとする姿がみられる子ども。

(3) 英語活動 6 つの約束

え…笑顔の「え」 「笑顔いっぱい」
い…イングリッシュの「い」 「英語で」
ご…コミュニケーションの「ご」
「コミュニケーションをとろう」
く…Clear voice 「はっきりした声で」
り…Listen carefully「しっかり相手の話を聞き」
あ…Eye contact 「目と目をあわせ」
楽しく英語活動しよう。

特に次の点を大切に、楽しい英語活動を実践する。

●笑顔で(Smile)…

笑顔は、人と接するときの基本であり、それだけで相手も心を開き、お互いの気持ちがよくなる。関係を円滑にし、元気な声の元になる。

●はっきりした声で(Clear voice)…

相手に届く声でないと、言いたいことは伝わらない。その場の状況を考え、どんな声の大きさと話したらよいかを判断することが大切である。

●目と目をあわせ(Eye contact)…

相手の目を見て話をしたり聞いたりするのは、会話をするときの基本であり相手を尊重する大切なマナーである。特に、英語活動では相手の話していることを理解するために、相手の目・口・表情などを見ていないと、相手の伝えたいことが理解できないことがよくある。目と目を合わせることは、お互い

の気持ちを通じ合わせるのにもとても大切である。

(4) 学級での英語活動の実際

各月を4週と考え、第1週から第4週まで HRT (Home Room Teacher) が主体となって英語活動を行うことを基本とするが、次のような指導体制を取り入れる。

① HRT と ALT (Assistant Language Teacher) と JTE (Japanese Teacher of English)

ALT は、英語を身近に感じさせたり、生きた英語を学ばせたりすることができる。基本としては、ALT が加わる場合には JTE も加わる。

事前に3者で打ち合わせをし、45分の効果的な役割分担を考え、チームティーチングを行う。

② HRT と VET (Volunteer English Teacher)

音源 (VTR・CD) の活用や教材を工夫するなど活動に変化をもたせた授業を行う。時には、子どもたちに手伝わせながら楽しく英語活動ができる工夫が必要である。

地域講師の VET は、場に応じた適切な英語を使用したり、はっきりした発音ができたりした児童を認め、それを学級に広めることを役割として位置付ける。

(5) レッスンプランづくり (ランチボックス型)

活動の流れ (活動過程) を以下のようにパターン化し、HRT と子どもたちが、活動に興味と見通しを持って取り組める方法を工夫する。

【活動の過程】

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 Greeting | はじめのあいさつ |
| 2 Warming up | 今月の歌 ダンスなど |
| 3 Today's Expression | 本時のテーマ |
| 4 Drilling | 練習 |
| 5 Pair work | ペア練習 |
| 6 Play a game | ゲーム |
| 7 Today's Comments | 活動の振り返り |
| 8 Greeting | おわりのあいさつ |

※毎時間、弥生小学校の「英語活動6つの約束」を、活動過程の中で常に子どもに呼びかける。

各活動は、ねらいや学年の発達段階に応じて活動内容を工夫し、子どもたちが自ら学習意欲を喚起し、興味を持って楽しめるように配慮する。

(6) 音源や教材集、教具の活用と工夫

HRT だけの英語活動では、学習活動が単調になりやすいし、担任の英語力の差による発音や語彙をはじめとした指導に学級間格差が生じやすい。そこで、同学年の子どもたちに、同じように楽しく英語活動を行わせる場の設定をするために、次のような教材や教具の活用と工夫をすることにした。

- ・ NHK ビデオ『えいごリアン』、CD 付き絵本『Alphabet』、英語音楽 CD、英語絵本・教材集等、その他、自作を含む教具各種。

III おわりに

平成19年度研究を基にして、今年度は、1～6年生の全学年で、英語活動に取り組む計画を立てている。1・2年生では、1日9分ずつのモジュール型 (9分×5日×10週) で、学級活動や弥生タイム (授業時数にはカウントしない時間) に英語活動を行う。3・4年生では、週に30分のモジュール型 (30分×33週) で、総合的な学習の時間や弥生タイムに英語活動を行う。5・6年生は、週45分の定型型で、総合的な学習の時間や弥生タイムに英語活動を行う。英語活動を通じて、英語好きな子どもたちがたくさん育ってくれることを、心より願ってやまない。

